

事務事業評価表 平成23年度

政策 明日につながる産業の振興  
 施策 就業環境の整備  
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **シルバー人材センター事業補助金**

[0088]

部名	経済部	事業開始年度	平成7年度	実施計画事業認定	非対象
課名	商工労働課	事業終了年度	平成25年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>高齢者の就業を支援する団体</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>高齢者の経験と技術を生かした就業の場が確保され生きがいになる。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>シルバー人材センターに対し、同センターの管理運営費(人件費・事務運営費等)を補助する。市補助金は同センターの事業計画の提出に基づき、国の補助基準に基づき決定する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	高齢者の就業を支援する団体数	団体	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	14,400	14,400	13,400	13,400
活動指標2						
成果指標1	(社)江別市シルバー人材センター受注事業費	千円	360,376	378,427	380,604	378,428
成果指標2	(社)江別市シルバー人材センター延就業者人数	人日	81,309	82,719	82,979	82,719
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	14,400	14,400	13,400	13,400
正職員人件費(B)		千円	418	415	403	407
<b>総事業費(A)+ (B)</b>		<b>千円</b>	<b>14,818</b>	<b>14,815</b>	<b>13,803</b>	<b>13,807</b>

費用内訳	
22年度	負担金 補助及び交付金 13,400千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	高齢社会における高齢者への就業機会の提供と社会活動の創造の重要性	事業を取り巻く環境変化	依然として厳しい経済状況が続き、会員を取り巻く就業環境も地方自治体の行財政改革による事業の見直しや民間事業所における事業規模の縮小などにより、厳しい状況が続いている。
--------	----------------------------------	-------------	---

## 22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

団塊の世代が退職を迎え高齢者が年々増加する中、シルバー人材センターは地域社会に密着した臨時的・短期的な仕事を民間事業所・一般家庭・公共団体から受注し、高齢者のいきがい対策ばかりでなく、高齢者の豊かな能力と経験の活用を図り、活力ある地域社会の活性化に寄与している。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

北海道内の他市に比べても、60歳以上の方の入会率や平成22年度の就業延べ人員は高い水準を維持している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

高齢者の雇用環境が厳しい中において、民間事業所の新規開拓や独自事業の展開により、受注事業費を伸ばしている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

独自事業の開拓を積極的に進めていくことで成果向上の可能性はある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

例年同様に、補助額を国の補助金と同額とした。